

2024年4月の行事予定表

1	月		16	火	
2	火		17	水	
3	水		18	木	祈禱会
4	木	証し会	19	金	
5	金		20	土	
6	土		21	日	大月師 各会例会
7	日	大月師・聖餐式 役員会	22	月	
8	月		23	火	
9	火		24	水	
10	水		25	木	祈禱会
11	木	祈禱会	26	金	
12	金		27	土	
13	土		28	日	大月師 年次教会総会
14	日	大月師	29	月	祝日(昭和の日)
15	月		30	火	

4月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 2023年度の最終月報をお届けできましたこと、神様と教会員皆さまに心から感謝します。
- ◇ 私たちの教会は昨年4月から無牧師の状態で一年間を過ごしてきました。第一日曜は引退教職の永松先生、第三日曜は山陽地区の三浦先生(広島)、野村先生(呉)、塩崎先生(水島)が交代で説教くださり、第二・第四日曜は教会役員の奨励というかたちで礼拝を守ることができました。
- ◇ このたび神様のお導きで、岡山教会出身の大月康子先生が後任として着任してくださるはこびとなりました。何と不思議な神様の御手！
- ◇ 教会の庭の桜も満開。一緒に喜んでいるかのようです。

# 教会月報

2024年4月

No.395

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

この人を見よ!

そこで、ピラトはイエスを捕らえ、鞭で打たせた。(略)祭司長たちや下役たちは、イエスを見ると、「十字架につけろ。十字架につけろ」と叫んだ。ピラトは言った。「わたしはこの男に罪を見いだせない。」(略)それは過越祭の準備の日の、正午ごろであった。ピラトがユダヤ人たちに、「見よ、あなたたちの王だ」と言うと、彼らは叫んだ。「殺せ。殺せ。十字架につけろ。」(略)そこで、ピラトは、十字架につけるために、イエスを彼らに引き渡した。  
ヨハネ福音書 19:1-16a

ピラトは主イエスを指して言った、「見よ、この男だ(この人を見よ)」。私たちはイエスというお方の何を見、誰だと言うのか。ローマ帝国のユダヤ総督ピラトは主イエスに罪を見いださなかったが、周囲の圧力に負け、不本意ながら十字架刑を承認してしまう。祭司長たちやユダヤ人たちはあくまで主イエスを憎み、死刑にするために血眼になる。ピラトを脅し、自分たちの王はローマ皇帝以外にないとまで公言する。

人間の弱さと罪がここに渦巻いている。それは私たちを覆う弱さであり罪の姿でもある。主イエスの十字架の死は、まさにそのために引き起こされた悲劇だった。

しかし、まさにその十字架の死によって私たちの救いももたらされたのだ。「その独り子をお与えになったほどに、世を愛された」神の愛がここで頂点に達した。

あなたはイエスを十字架の主として見つめているか。

～塩崎 悟史牧師(水島教会): 岡山教会3月17日礼拝説教要旨～

\*\*\*\*\*  
この日(3月17日)は、塩崎先生の派遣説教最後の日でした。おりしも、岡山に転居されたばかりの大月康子先生、引退された永松先生と共に、お三人で記念写真を撮ることができました。  
\*\*\*\*\*





# イースター(復活祭) 2024 みんなで、おめでとう!



～ イースター・エッグを手に、パチリ !! ～



写真上：CS プレ・イースター

写真下：成人科暗唱聖句発表



🌸 3月31日(日)、春を通り越して初夏のようなイースターでした。礼拝は、A 姉のピアノ奏楽、A.M.姉がソング・リーダーをつとめてくださいました。I.S.姉の証しに続いて、永松先生より「復活信仰の意義」と題してのメッセージをいただきました。久しぶりの方々、子どもたちも共にイースターの喜びをお祝いしました。(30名出席) 礼拝後に、成人科メンバーの暗唱聖句発表がありました。(写真下)

昼食は永松先生ご夫妻ご提供のサンドイッチを皆で美味しくいただきました。感謝でした。

🌸 イースター前の3月24日(日)礼拝後、CS のプレ・イースターが行なわれました。(写真中)

「保護者4名、小学生4名、中学生1名、大学生1名が集まりました。楽しく自己紹介をしながら、昼食を共にいただきました。イースターの絵本を皆で輪読して、その中に奨励でのお話で出てきたペテロやトマスの名前が出てきました。その時、イエス様がゴルゴダの丘まで大変な思いで上った前後のことを、奨励のお話を思い出しながら話すお子さんがいて、皆で感心しました。お話の交わり後、エッグハンティング! Kさんが会堂内に隠しておいた卵 14 個を一斉に探しました。早い人はあっという間に 5 個も見つけていました。最後の1個がどうしても見つからず、親も入って、そして、

残ってお仕事していたY兄弟まで巻き込んで探してやっと見つけることができました。今回は教会の子ども達全員ではありませんでしたが、久しぶりに教会に来られた人や初めましての人との交流は良い時間となりました。新年度になって、新牧師先生と一緒に子ども達同士の交流の時間を作れたらと思います。」(A. Y.)

## イースター礼拝 証し

I. S. 姉

私は 1988 年の復活祭 29 歳の時に札幌教会で久保木先生から洗礼を受けました。新年に「教会に行こうかな」と呟き義姉が「すごいと思う! 」と力強く背中を押してくれたことで教会に行く決心をしたのです。勢いのまま 10 日に札幌教会の礼拝に出席。久保木先生にはやくから洗礼を受けたいとお伝えし、礼拝も夜の集いも欠かさず出席して3月になりました。私は先生に「イエス様は救い主だと信じなければ、受洗できませんか? 」と聞きました。復活祭に洗礼という話も出ていた頃の根源的な問いに「Sさん、イエス様を救い主と信じていない人に、私は洗礼をさずけることができません」久保木先生はとて驚かれました。私もがっかりしましたが、先生はもっごう



れたと思います。救いの確信がなかったのになぜ受洗したかったのかというと、教会幼稚園でイエス様を知り、いつか自分の帰るところという思いがずっとあったのです。私の真の意味の求道はそこから始まりました。

3月21日の休日に朝起きるとすぐ聖書を開き救いの確信を求めました。祈っては御言葉を読み続け、一息つこうと手元にあった古い小さな聖書を開くと祖父の字で「大正五年三月二十一日春季皇霊祭に当たり卒業記念として此れを富貴堂に求むY. S. 」と書かれていました。この一文を見た時、暖かい光が窓から降るように差し込んできました。きらきらと輝く温もりに包まれた次の瞬間「イエス様はこんなにも自分を愛してくださる」と頭の芯が開き「今ここに救いの時が備えられていた」確信が内に満ちたのです。私は喜びの中で、祖父の文字の横にこう書きました。「(お祖父様へ 七十三年後に孫娘が救われました)昭和六十三年三月二十一日 神と主イエスキリストに感謝できることに恵まれて記す I. S. 」

次の聖日に久保木先生に洗礼をお願いして復活祭に受洗しました。神様のご計画で長い時を経て与えられた命を生きることに感謝したいと思います。



## 新任牧師 大月康子先生ご挨拶

主の尊いお名前を崇めます。皆様、こんにちは。私は 35 年前に、三浦綾子さんの文章を載せたトラクトに出会い、こんな神様がいて下さるなら、こんな平安を味わってみたいと、信じる決心をしました。あの夜あのトラクトを届けて下さったことで、神様は生きておられると実感できました。あの喜びは忘れることができません。カウンセリングに夢中になった時もありましたが、究極的な救いは神様にあると立ち返り、2012年のクリスマスに献身の意をお伝えして、皆様に驚かせました。にもかかわらず温かく応援し祈り支えて下さり、ありがとうございました。また今回は牧師として迎えて下さり、心から感謝いたします。

古い新米で、弱さや足りなさを一杯抱えている者ですが、皆様に許し祈り補っていただいて、皆様と一緒に、福音の喜びをお伝えできる、愛と喜びと平安が溢れる教会を目指したいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。 大月康子 (写真:3月17日礼拝後)

